



平成22年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年8月6日

上場会社名 株式会社ダイナック 上場取引所 東
 コード番号 2675 URL http://www.dynac.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若杉 和正
 取締役管理本部長、
 問合せ先責任者 (役職名) 法務・総務部長、 (氏名) 大和田 雄三 (TEL) 03(3341)4216
 CSR推進担当
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有・無
 四半期決算説明会開催の有無：有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第3四半期の業績（平成21年10月1日～平成22年6月30日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第3四半期	26,375	7.9	452	122.2	396	189.2	180	-
21年9月期第3四半期	28,647	-	203	-	137	-	58	-

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年9月期第3四半期	25	66	-	-
21年9月期第3四半期	8	36	-	-

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
22年9月期第3四半期	15,991		3,820		23.9	543	28	
21年9月期	17,378		3,746		21.6	532	75	

(参考) 自己資本 22年9月期第3四半期 3,820百万円 21年9月期 3,746百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
21年9月期	-	-	0	00	-	-	10	00	10	00
22年9月期	-	-	5	00	-	-				
22年9月期(予想)							5	00	10	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：有・無

3. 平成22年9月期の業績予想（平成21年10月1日～平成22年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	34,900	7.6	690	92.0	600	121.6	180	-	25	59

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：有・無

4. その他（詳細は、（添付資料）3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

（1）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用： 有・無

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（2）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更： 有・無

以外の変更： 有・無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（3）発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年9月期3Q	7,033,000株	21年9月期	7,033,000株
期末自己株式数	22年9月期3Q	88株	21年9月期	88株
期中平均株式数（四半期累計）	22年9月期3Q	7,032,912株	21年9月期3Q	7,032,912株

四半期レビュー手続の実施状況に関する説明

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	
(1) 販売の状況	8

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における我が国経済は、国内外の経済対策や新興国需要の拡大などを背景に企業収益、設備投資の緩やかな改善傾向が見られるものの、本格的な景気回復には至らず、個人消費は依然として低迷基調のまま推移しております。

外食業界におきましても、雇用不安や個人所得の減少などにより消費者の節約志向が強まる中、企業間での低価格競争は一層激化し、経営環境は依然として厳しい状況にあります。

このような状況の下、当社は、常に「お客様感動満足提供企業」を目指すとともに、世の中の変化に対応した現場力の強化を図り、より一層の食の安心・安全の追求と商品・サービスの提供価値を高めてまいりました。

当第3四半期累計期間における新規出店は、串焼きと鶏料理「鳥どり」、新業態のダイニングパブ「RCタバーン」、旬魚・串揚げ居酒屋「咲くら」、及びゴルフ場レストランの計11店舗を出店する一方、不採算店舗や契約先の事由などにより21店舗を閉店いたしましたので、当第3四半期累計期間末の店舗数は249店舗となりました。

当第3四半期累計期間における業績について、売上面では、上半期の創業51周年大感謝キャンペーンに続き「倶楽部ダイナック(顧客会員カード)」10周年記念によるグルメガイドの配布などの全社的な販売促進活動を実施し、お客様への来店動機付けの向上に取り組んでまいりましたが、来店客数の減少や不採算店舗の撤退による店舗数の減少などにより、売上高は26,375百万円(前年同期比7.9%減)となりました。利益面では、仕入原価の低減や人員配置の適正化、店舗運営費用の効率的な使用などによるコストコントロールを行うとともに、販売費及び一般管理費の経費の削減に取組むなどで、売上高の減少による利益の減少を抑制することができ、経常利益は396百万円(前年同期比189.2%増)、四半期純利益は180百万円(前年同期は四半期純損失58百万円)となりました。

事業部門別の概況は以下のとおりです。

レストラン・バー事業の出店・閉店及び業績の概況は、ほぼ前述のとおり、売上高は24,125百万円(前年同期比9.0%減)、売上総利益は2,647百万円(前年同期比6.4%減)となりました。

ケータリング事業は、市況が低迷する中、法人需要などの掘り起こしに努め、売上高は592百万円(前年同期比3.2%増)、売上総利益は73百万円(前年同期比25.8%増)となりました。

その他の事業は、経済対策の高速道路通行料金の割引などにより、サービスエリアの売店収入などの伸長で、売上高は1,657百万円(前年同期比6.7%増)、売上総利益は276百万円(前年同期比18.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は15,991百万円となり、前事業年度末と比べ1,386百万円の減少となりました。

その主な増減内容につきましては、以下のとおりです。

流動資産は、前事業年度末と比べ277百万円の減少となりました。これは主に売掛金119百万円、繰延税金資産(流動資産「その他」)142百万円が減少したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末と比べ1,109百万円の減少となりました。これは主に不採算店舗の撤退などにより、有形固定資産371百万円、敷金及び保証金610百万円が減少したことによるものです。

負債は、前事業年度末と比べ1,460百万円の減少となりました。これは主に借入金1,130百万円、賞与引当金226百万円が減少したことによるものです。

純資産は、前事業年度末と比べ74百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金74百万円が増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末より2.3ポイント増加の23.9%となりました。

(キャッシュ・フロー状況)

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ13百万円減少の207百万円となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況につきましては、以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、967百万円(前年同期は928百万円の資金獲得)となりました。これは主に税引前四半期純利益328百万円、減価償却費573百万円、売上債権の減少123百万円に対し、賞与引当金の減少226百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、253百万円(前年同期は169百万円の資金使用)となりました。これは主に新規出店に伴う設備、敷金及び保証金の支出235百万円、店舗等撤退による支出118百万円に対し、敷金及び保証金の回収による収入574百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1,234百万円(前年同期は562百万円の資金使用)となりました。これは主に借入金の収入と返済による資金収支1,130百万円の減少があったことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年9月期の通期の業績につきましては、平成22年5月7日に公表いたしました業績予想に変更ありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

表示方法の変更

(四半期損益計算書)

前第3四半期累計期間において、営業外収益の「その他」に含めておりました「受取補償金」は、営業外収益の総額の100分の20を超えたため区分掲記しました。なお、前第3四半期累計期間における「受取補償金」は、92千円であります。

前第3四半期累計期間において、店舗等の撤退の意思決定に伴う損失を「店舗閉鎖損失」として表示しておりましたが、より明瞭に表示するため「店舗等撤退損失」として表示することにしました。

(四半期キャッシュ・フロー計算書)

前第3四半期累計期間において、店舗等の撤退の意思決定に伴う損失を営業活動によるキャッシュ・フローの「店舗閉鎖損失」として表示しておりましたが、より明瞭に表示するため「店舗等撤退損失」として表示することにしました。

前第3四半期累計期間において、店舗等の撤退に伴う支出を投資活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しておりましたが、金額的に重要性が生じたため「店舗等撤退による支出」として表示することにしました。なお、前第3四半期累計期間における「店舗等撤退による支出」の金額は36,480千円であります。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	207,929	221,245
売掛金	1,635,046	1,754,394
商品	38,216	40,448
原材料及び貯蔵品	179,744	202,472
その他	584,370	724,611
貸倒引当金	90,000	110,000
流動資産合計	2,555,307	2,833,172
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,861,766	5,096,693
その他(純額)	597,089	733,472
有形固定資産合計	5,458,856	5,830,165
無形固定資産		
	66,699	65,383
投資その他の資産		
敷金及び保証金	6,171,370	6,782,216
その他	2,120,068	2,178,597
貸倒引当金	381,077	311,444
投資その他の資産合計	7,910,361	8,649,368
固定資産合計	13,435,917	14,544,917
資産合計	15,991,224	17,378,090

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,597,396	1,676,707
短期借入金	1,970,000	2,700,000
1年内返済予定の長期借入金	2,800,000	1,900,000
未払法人税等	69,000	82,000
未払費用	1,535,289	1,631,918
賞与引当金	-	226,000
役員賞与引当金	21,000	4,400
その他	565,910	540,612
流動負債合計	8,558,596	8,761,637
固定負債		
長期借入金	2,100,000	3,400,000
退職給付引当金	1,354,621	1,318,085
役員退職慰労引当金	66,083	56,928
その他	91,086	94,636
固定負債合計	3,611,791	4,869,651
負債合計	12,170,387	13,631,288
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,741,625	1,741,625
資本剰余金	965,175	965,175
利益剰余金	1,112,269	1,037,303
自己株式	99	99
株主資本合計	3,818,969	3,744,003
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,867	2,797
評価・換算差額等合計	1,867	2,797
純資産合計	3,820,837	3,746,801
負債純資産合計	15,991,224	17,378,090

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
売上高	28,647,766	26,375,762
売上原価	25,527,703	23,378,645
売上総利益	3,120,062	2,997,116
販売費及び一般管理費	2,916,428	2,544,595
営業利益	203,634	452,521
営業外収益		
受取利息	880	591
受取配当金	354	353
保険事務手数料	1,422	1,399
受取補償金	-	3,968
違約金収入	2,398	-
法人税等還付加算金	2,364	-
その他	3,006	1,111
営業外収益合計	10,425	7,424
営業外費用		
支払利息	71,953	60,132
その他	5,011	3,346
営業外費用合計	76,964	63,479
経常利益	137,095	396,466
特別利益		
固定資産売却益	7,000	8,047
貸倒引当金戻入額	17,605	-
特別利益合計	24,605	8,047
特別損失		
固定資産除却損	27,082	29,903
減損損失	79,697	-
店舗閉鎖損失	35,687	-
店舗等撤退損失	-	35,968
その他	1,600	9,966
特別損失合計	144,067	75,838
税引前四半期純利益	17,633	328,675
法人税、住民税及び事業税	52,581	48,922
法人税等調整額	23,875	99,293
法人税等合計	76,457	148,216
四半期純利益又は四半期純損失()	58,823	180,459

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	17,633	328,675
減価償却費	745,761	573,248
減損損失	79,697	-
店舗閉鎖損失	35,687	-
店舗等撤退損失	-	35,968
賞与引当金の増減額(は減少)	243,000	226,000
貸倒引当金の増減額(は減少)	20,305	50,128
受取利息及び受取配当金	1,234	945
支払利息	71,953	60,132
売上債権の増減額(は増加)	25,443	123,932
たな卸資産の増減額(は増加)	568	24,959
仕入債務の増減額(は減少)	19,451	79,310
未払費用の増減額(は減少)	24,133	75,598
その他	219,361	244,347
小計	975,721	1,059,539
利息及び配当金の受取額	1,234	945
利息の支払額	70,713	59,098
法人税等の還付額	77,837	-
法人税等の支払額	55,243	33,922
営業活動によるキャッシュ・フロー	928,836	967,463
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	513,622	214,773
敷金及び保証金の差入による支出	102,639	21,045
敷金及び保証金の回収による収入	495,467	574,908
店舗等撤退による支出	-	118,945
その他	48,337	33,092
投資活動によるキャッシュ・フロー	169,131	253,235
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	510,000	730,000
長期借入れによる収入	-	200,000
長期借入金の返済による支出	-	600,000
配当金の支払額	52,857	104,014
財務活動によるキャッシュ・フロー	562,857	1,234,014
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	196,846	13,316
現金及び現金同等物の期首残高	179,505	221,245
現金及び現金同等物の四半期末残高	376,352	207,929

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

当第3四半期累計期間の販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	当第3四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)	前年同期比
	(千円)	(%)
レストラン・バー事業	24,125,671	91.0
ケータリング事業	592,326	103.2
その他の事業	1,657,764	106.7
合計	26,375,762	92.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

なお、当第3四半期累計期間の販売実績を地域別に示すと、次のとおりであります。

地域別	当第3四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)	前年同期比
	(千円)	(%)
東京都	11,602,685	90.8
埼玉県	781,413	87.1
千葉県	867,507	115.2
神奈川県	1,333,943	92.0
滋賀県	789,093	76.3
大阪府	4,503,369	92.3
兵庫県	3,395,910	95.4
その他の府県	3,101,837	94.2
合計	26,375,762	92.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。